

東毛地区PTA指導者研究集会に参加して

昨年度、本校が東毛地区幹事校として約1年をかけて準備にあたり、無事に役割を果たし終えてから早くも1年が経過し、バトンを引き継いだ太田工業高校の御苦勞により、今年も予定通りに開催されました。本校からは、会長以下6名の本部役員と職員2名が参加しました。来年度は同大会での「檀上発表」を控えており、特に「研究協議」における各校（大間々高校、館林商工高校、市立太田高校、桐生市立商業高校）の取り組みの紹介は、大いに参考になりました。本校は、PTA総会等の通常の取り組みの他、学校行事の中での保護者の関わり方、参加・協力について検討、実施を進めてきましたが、一昨年度の「文化祭のバザー参加」、昨年度の「学年委員合同マナーアップ運動」「大運動会参加」、今年度の「3学年生徒対象の模擬面接指導」「施設見学会（自衛隊・女子少年院）実施」等のデータの収集は、本校の特徴ある活動成果として評価されるべきものになると、確信することもできました。この後、記念講演ということで、群馬ヤクルト販売(株)取締役会長様より「人生100年時代」の演題で御講義をいただきました。また、県本部事務局より次年度の関東高P連大会開催地となる本県の取り組み準備の紹介や、参加協力の依頼がありました。「来年も忙しい1年になる」と気持ちを新たにして、玄関先の「東毛地区指導者研究集会」の看板前にて集合写真を撮り、会場を後にしました。

